



牧野京美



坂井悦子



山本かよ子

石田縞保存会
作品集

石田縞

第7回
石田縞アイデア
小物コンテスト
作品集



鯖江市繊維協会



主催 ■ 鯖江市繊維協会
後援 ■ 鯖江市、鯖江商工会議所、鯖江観光協会、
福井新聞社、FBC、福井テレビ、こしの都ネットワーク

幻の石田縞 江戸時代から織られた石田縞 福井の女学生に愛された木綿織り

汗を吸い、丈夫で保温にも適している木綿を使い、縦横に筋を入れた縞織物は、南蛮貿易で注目され「唐縞」などと呼ばれ江戸時代では最新の織物でした。

鯖江の下石田に住む、高島善左衛門は貧しい村人を救うために文政年間に美濃で縞織物を習い、織工を招いて工場を建てました。これが人気を博し、副業として近在に広がりました。これが石田縞の始まりです。

石田縞は経糸に細い唐糸を2本撚り合わせた双子糸を使い、緯糸に単糸の唐糸を使用したので双子木綿とも言われています。衣服、野良着、布団地などに使用されていました。明治33年(1900)には生産高33万反にまで達するほど織られました。

明治39年に福井女子師範学校女子部が石田縞の袴を制服に採用したのを皮切りに、福井県下の女学校や小学校の制服に指定されていきます。

大正時代に動力で動く力織機によってさまざまな布が大量に織られ、学校制服がセーラー服へと変わったように、洋装が普段着に使われるようになると石田縞は急速に衰退していきます。

今では幻の織物と呼ばれていますが、数人の作家によって復元し、繊維協会手織りセンターでは現代の好みに合わせた色やデザインで実際に織る体験が出来るようになりました。



昭和5年 宮崎小学校 女子教員・女生徒に石田縞を見ることができた。

石田縞アイデア小物コンテスト

草木で染めた糸を手織りした石田縞。江戸時代から織られ、たくさんの人から愛されたこの石田縞の美しさと魅力を、今の時代にふさわしい形で、身近な小物で、新しいアイデアで発信したい。繊維協会ではそのアイデアを広く皆様に募集するため、アイデア小物コンテストを開催いたしました。今年は48点の応募がありました。

- 内容 「石田縞を使った商品にあつたらいいな。」と思うアイデア小物を募集するコンテスト
- 対象 高校生以上
- 参加要件
 - ・石田縞をメインにアイデア小物を製作ください。
 - ・参加者が自ら製作し、未発表のものに限ります。
 - ・石田縞以外の用品は参加者の方で負担してください。
 - ・出品されたアイデア小物は返却しますが、小物の製造著作権は繊維協会のものとします。
- 作品展示 12月8日(金)～12月10日(日)
鯖江市まなべの館
- 副賞 最優秀賞(賞金3万円) 1本
優秀賞(賞金5千円) 10本以内

■審査員

仁愛女子短期大学生生活科学学科准教授	前田 博子
一般社団法人鯖江観光協会専務	長谷川伸英
鯖江市産業環境部商工観光課長	酒井 智行
石田縞保存会	久嶋 英子
石田縞保存会	吉村 和枝
協同組合鯖江市繊維協会副理事長	高橋 光雄

石田縞アイデア小物コンテスト審査員長講評

石田縞アイデア小物コンテストは7回目を迎えられました。これも皆様の応募あってのことと感謝申し上げます。

私の総評を丁寧に聞いてくださる常連の方も増え、柄合わせが出来ていたり、使い切りを意識されていたりと作品を見出しポイントが抑えられている事とても喜ばしく感じました。

さて、今回わたくし審査員を悩ませたのは既存商品との差別化です。手芸そのものは民衆に広く開かれた文化ですので、How to本や動画が数多く存在します。これらを真似てプライベートでつくることは何の問題もございませんが、コンクールに出展するとなると話は変わってきます。

これは、審査員側につきつけられた挑戦状の様でした。これらの挑戦状に真摯に向き合い審査いたしました。不安が残っているのも事実です。

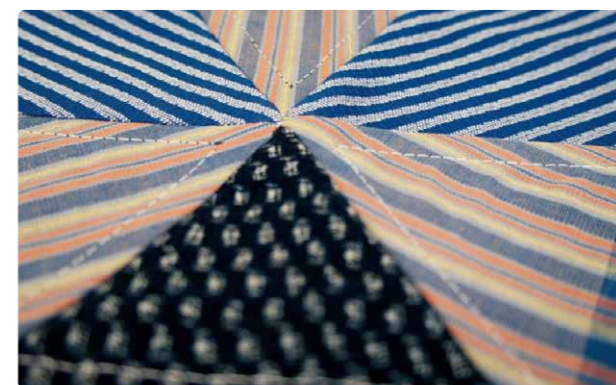
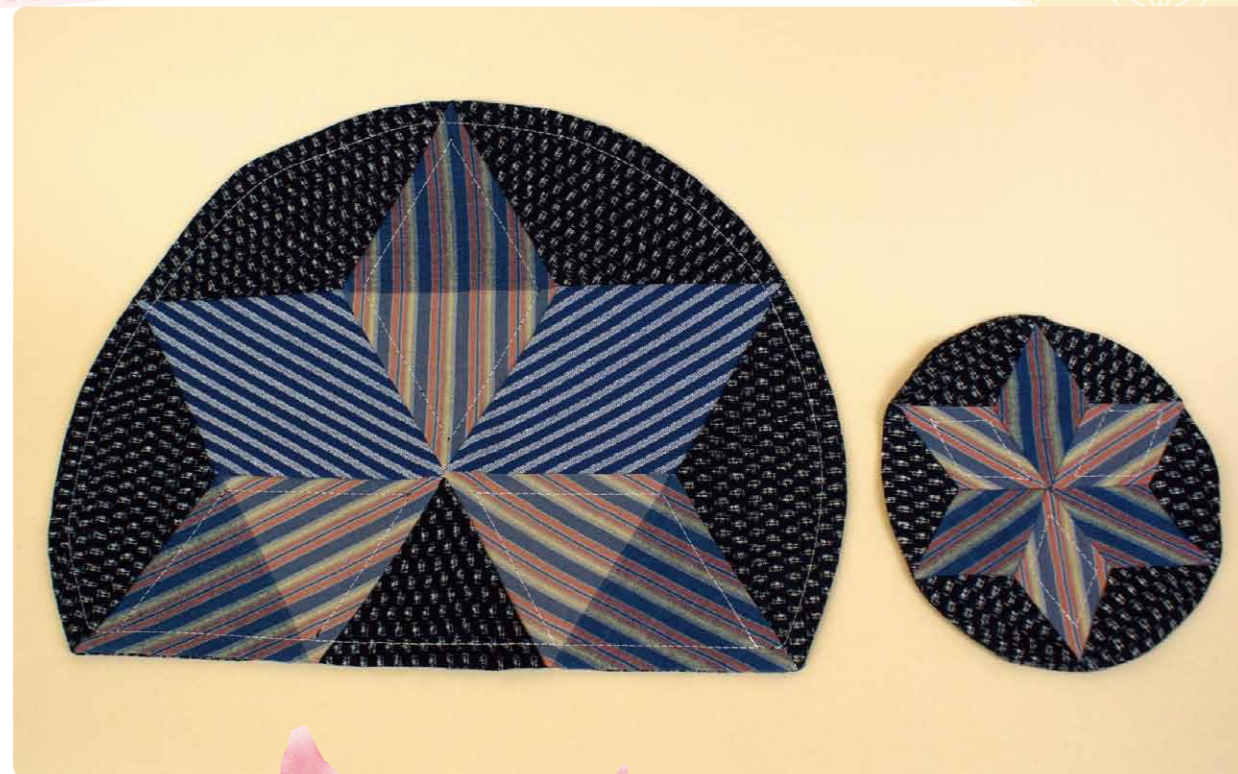
ですので、次回以降はオリジナルであることを前提にご出品いただきたくお願い申し上げます。

また作品提出の際にご記入いただいている「作品コンセプト」には他のものと違ってどれほど独自性があるのか、もしくはどれほど素晴らしいのかをご記入ください。

これからも、皆様の針仕事が楽しく慈しいものでありますように、、、。

審査員長 仁愛女子短期大学生生活科学学科准教授 前田 博子

最優秀賞



ランチョンマットとコースター

小林 かず子

石田縞の縞を生かす工夫をしました。



優秀賞



リン台

加藤 千枝

すぐ出来あがると思いましたが時間がかかりました。石田縞の生地は針が通りやすく肌ざわりがいいと感じました。



貝細工いろいろ(4種)

山田 悦子

大きなハマグリが手に入りましたので、貝殻を使って何か出来ないかと考えました。とり、お福さん、金魚、お内裏様を作ってみました。



石田縞で名古屋帯をリメイク ショルダーバッグ

吉田 由美

知人から頂いた名古屋帯を石田縞でリメイクできました。バッグは石田縞と畳ヘリを使ってポケットにショルダーバッグは帯の上のせてみました。残りの生地はスマホケースとくるみボタンクリップになりました。



バックインポーチ 便利ポーチ

内藤 ヒロ子

・出かけるとき バックの中の細々したものを入れておくのに便利だと思います。
・出かけるとき 薬手帳とか1回分の薬を入れておくに「あっ!この中にある。これだけでも外出OKです。」



親子でお出かけ

中村 和佳代

昨年使った石田縞のわずかな残り布を生かしたくて、アップリケの周りに額縁のように入れてみました。がま口のBagは口が大きく開くので中のものの出し入れがしやすいそうです。余り布で小さながま口もお揃いで作りました。



お祝い袋入れ ポチ袋入れ カード入れ

木下 邦子

石田縞の方向性を工夫しておもしろみを出してみました。お祝い事の際に「ほんの気持ちです」と一緒に差し出したら喜んでもらえるかしら?



応募作品



スマホポシェット

中尾 由美子



刺繍入りボディバッグ

山本 壽美子



フォトフレーム

坂井 悦子



お裁縫ポーチ

小柳 由紀子



きんちゃく

小柳 由紀子



花びんカバー

坂井 悦子



ティッシュカバー

武藤 博子



手さげ(スマホ、小物等)

坂井 悦子



和の掛け軸 私の作品を掛けても良く見えるでしょ!

林 公枝



お薬手帳

武藤 博子



布風船

蓑輪 洋子



石田縞ターバン

野村 奈菜



ティセット

田中 恵子



トイレトーパーホルダー&小物便利収納合体

和田 千代子



お道具入れ

佐々木 生子



ティッシュ&小銭&カード入れ

佐々田早智子



どこでもにゃんこポケット

高森 梨恵



スマホスタンド

佐々田早智子



カードケース入れ

西野 清美



石田縞で名古屋帯をリメイク バック

吉田 由美



石田縞で名古屋帯をリメイク スマホケース

吉田 由美



買い物に行ってきたよ

山 明美



腕まわりが楽になったジャケット

塔尾 富美子



メガネ&ブックカバー

田中 光子



ノートカバー

村岡 成子



機織りをひとやすみ

武田 カナエ



トートバッグ

金谷 房江



これで快適! スマホスタンド

武田 真衣



カルトナージュソーイングボックス

長谷川 洋子



リバーシブルの帽子とブローチ

梯 弘子



ポケットいっぱいスマホ入れ

藤野 光子



小さなお針箱

藤井 一代



メガネケース

松田 洋子



石田縞と花柄もようのかわいい巾着袋

山本 栄子



おかえり

手賀 和美



小銭入れ

松田 洋子



バック

中西 京子



ポーチ

松田 洋子



多機能エプロンペットボトル用袋とスマホ用袋

吉田 紀美枝



お茶入れ(ペットボトル)のカバー

中西 京子



折りたたみ布張りトレイ

長澤 澄雄

石田縞

石田縞保存会
会員作品集



榎本 富枝



牧野 京美



吉村 和枝



久嶋 英子



西川 智恵子



渡辺 洋子



伊藤 順子



原 節子



堀 みどり



坂井 悦子